



江府町 地域おこし協力隊 通信

昨年8月から江府町に新たに着任した2名の地域おこし協力隊員。新しい年を迎え、新たな取り組みに、今後も期待がかかる。今月号も、江府町の地域おこし協力隊員の活動を報告します。

今月号のテーマ 「今年はどうな年に？」

農業部門（活動内容：農事組合法人宮市での商品開発など）



にしじま としあき
西嶋 俊明

明けましておめでとうございます！昨年8月に赴任して5ヶ月が過ぎました。私の昨年のマーケットターとしての提案の一つは「カモミール・ティー」です。カモミールはカミツレとも言いますが、花を乾燥してお茶にすると、リラックス、痛み止め、冷え性改善などの効果があり、最近、女性に人気のある商品です。

9月の中旬から、育苗をして、11月の中旬に試験田での定植を済ませました。順調であれば、蕾^{つぼみ}をつけ4月～5月開花予定です。江府町の気候に合うかどうか不安な点がありますが、景観も良く加工しやすい作物として展開できるのではと考えています。

その他にも、同じようにお茶に加工できる「レッド・クローバー」もその隣に植えてみました。来春には赤白黄色の花が咲いて宮市をにぎやかに彩ってくれるのではと期待しています。

皆さん、その時は是非見学に来てください。

本年もよろしくお願いいたします。



▲宮市のカモミール・レッドクローバー試験田

ふるさと教育（活動内容：日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師）



あべ まさき
阿部 将樹

皆さん、明けましておめでとうございます。単純に12月から1月へと変わっただけですが、年の始まりは、とても改まった気持ちになります。

余談ですが、私自身の新年の目標は「健康」です。新型コロナウイルス感染症対策はもちろんのこと、食生活の見直しと運動不足の解消をしなければ…。

過日、11月末から12月にかけての定期考査の結果が返却されました。多くの生徒が、前回の定期考査から大幅に点数を伸ばしており、苦手だった科目が55点アップした生徒や、全教科総合で150点以上上がった生徒もいました。生徒は「前回よりも点数は上がったけれど、ちょっとしたミスがなければもう少し取れたはず。」と、現状に満足せず向上心を見せていました。

また、12月12日（土）に「『探究』が拓く地域と若者の未来」と題し、日野高校及びまなびや縁側の特色である「地域資源を使った探究学習およびキャリア教育」について、地域の皆さんと一緒に理解を深めるシンポジウムを開催しました。当日は、事例紹介を含む基調講演に始まり、日野高校をはじめとした高校生の活動発表、高校生と一緒に取り組むワークショップ、という流れでした。生徒に地域のことを伝え、探究学習をするためには、まずは地域の大人が地域を知り、探究することが重要。当たり前のことではありますが、このことを忘れずに今後も活動していきます。

世界的に大きな転機を迎えた2020年。さて、2021年はどんな年になるのでしょうか。



▲ワークショップの様子